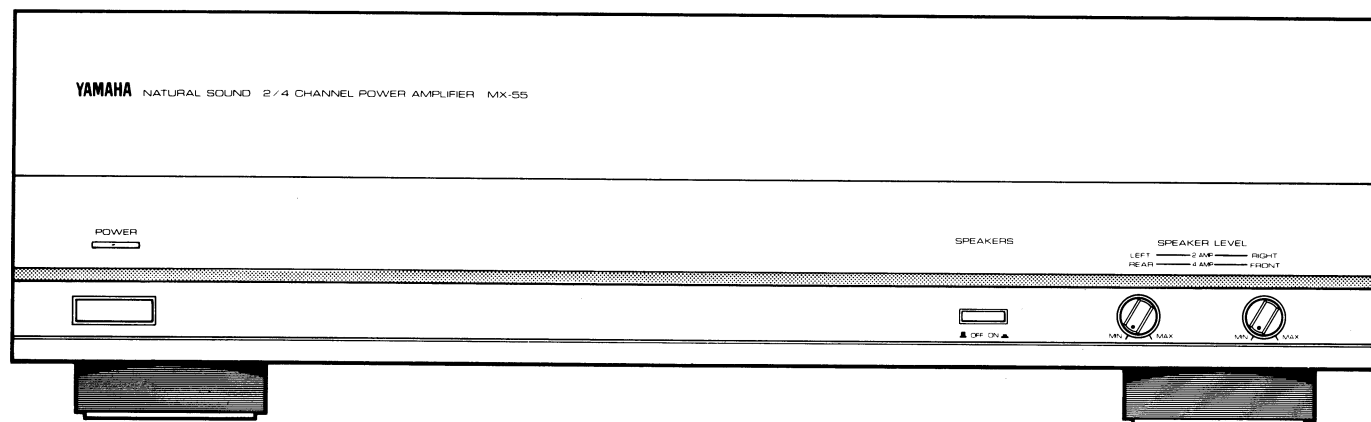


# MX-55

NATURAL SOUND 2/4 CHANNEL POWER AMPLIFIER

取扱説明書



# YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ2チャンネル/4チャンネルパワーアンプMX-55をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

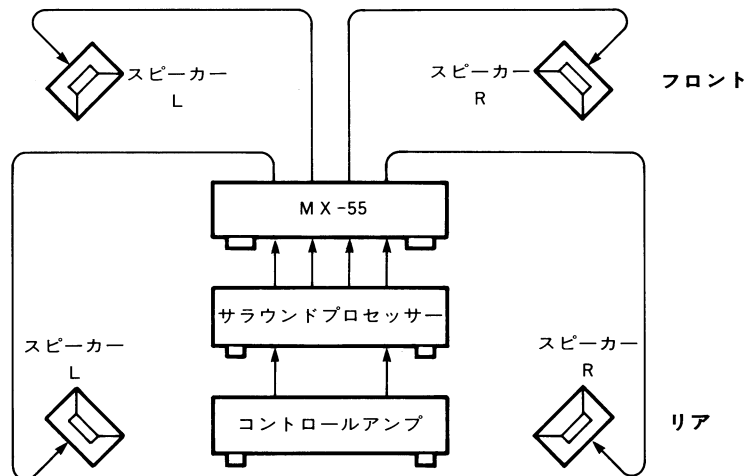
MX-55の優れた性能を発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

## 特長

本機はサラウンドシステム用として設計されたマルチチャンネルパワーアンプです。4チャンネルのアンプを内蔵しており、4台のスピーカーを最大50Wのパワーでそれぞれ駆動することができます。

また、2チャンネルで使用しますと100W+100Wのパワーアンプとなり、システムのメインアンプとしてもご使用いただけます。2チャンネルと4チャンネルはスイッチで簡単に切り換えが行なえ、音量バランスは2チャンネルのときは左右、4チャンネルのときは前後が調整可能です。

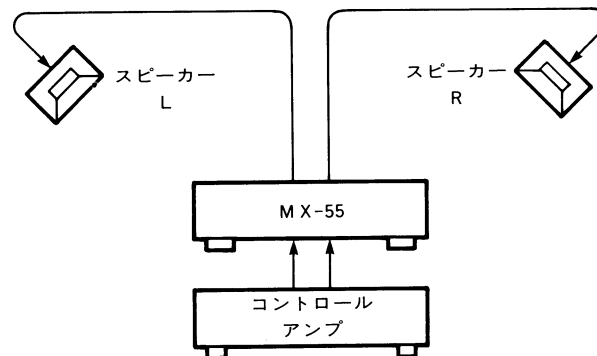
本機を4チャンネル(4 AMP)で使用する場合のシステム例



## 目次

特長	1
使用上のご注意	2
各部の名称とはたらき	3
接続のしかた	5
ブロックダイアグラム	8
故障かなと思ったら	9
参考仕様	10
ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク	11

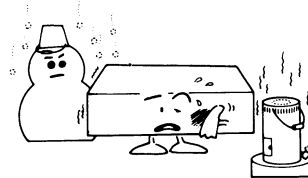
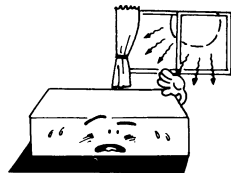
本機を2チャンネル(2 AMP)で使用する場合のシステム例



# 使用上のご注意

## 高温・低温はさけて！

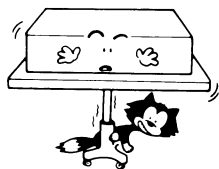
窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。



## ほこり・水気をさけて！

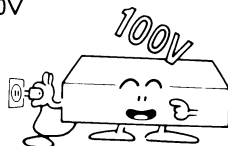


## 不安定な場所をさけて！

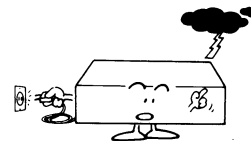


## 国内のみ使用可

家庭用電源コンセント  
AC100V

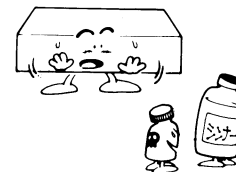


## 雷が近づいたら

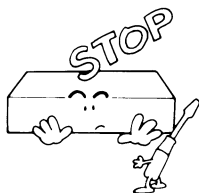


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

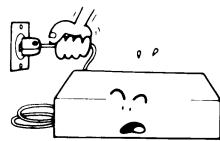
## 薬物厳禁



## 開けないで！



## 引っぱらないで！

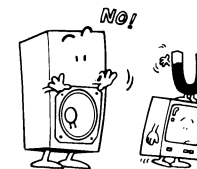


## セット上面の通風孔をふさがない

放熱を妨げないため、セット上面の通風孔の上に敷き物や、レコードなどを絶対に置かないでください。



## 磁気・テレビはさけて！



## こわれた？



9ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

## 保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



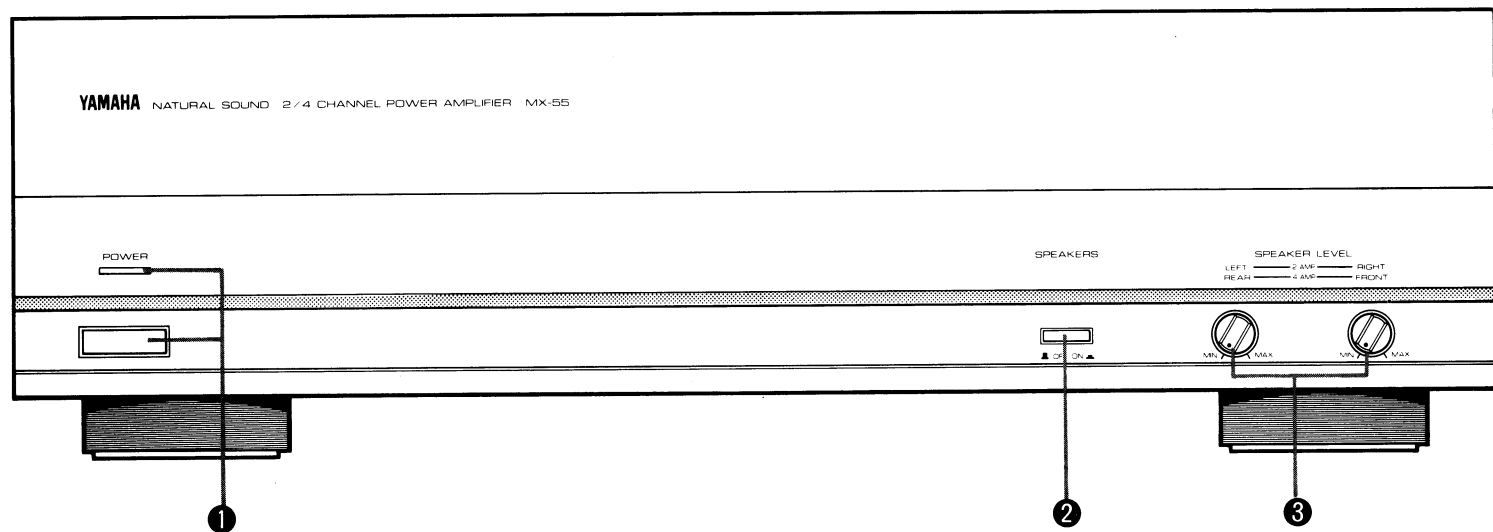
取扱説明書はかならず保管してください。



ファイルなど

# 各部の名称とはたらき

## フロントパネル



### ① <sup>パワー</sup>POWERスイッチ/インジケータ

電源スイッチです。スイッチを押すと電源が入り、インジケータが点灯します。もう一度押すと電源が切れインジケータが消灯します。

※電源を入れるときは、必ず入力機器側(コントロールアンプやサラウンドプロセッサなど)のボリュームを最小の位置にしておき、スピーカーから不用意に大きな音が出ないようにご注意ください。

※電源を入れてから数秒間は、保護回路が働いているため、スピーカーから音は出ません。

### ② <sup>スピーカーズ</sup>SPEAKERSスイッチ

スピーカー端子の出力をON/OFFするスイッチです。スピーカーの音を出したいときはON(■)、消したいときはOFF(■)にセットします。

### ③ <sup>スピーカー レベル</sup>SPEAKER LEVELツマミ

スピーカーの音量を調整するツマミです。**2 AMP** で使用する場合と、**4 AMP** で使用する場合では、次のようにツマミのはたらきが異なります。

#### **2 AMP** の場合

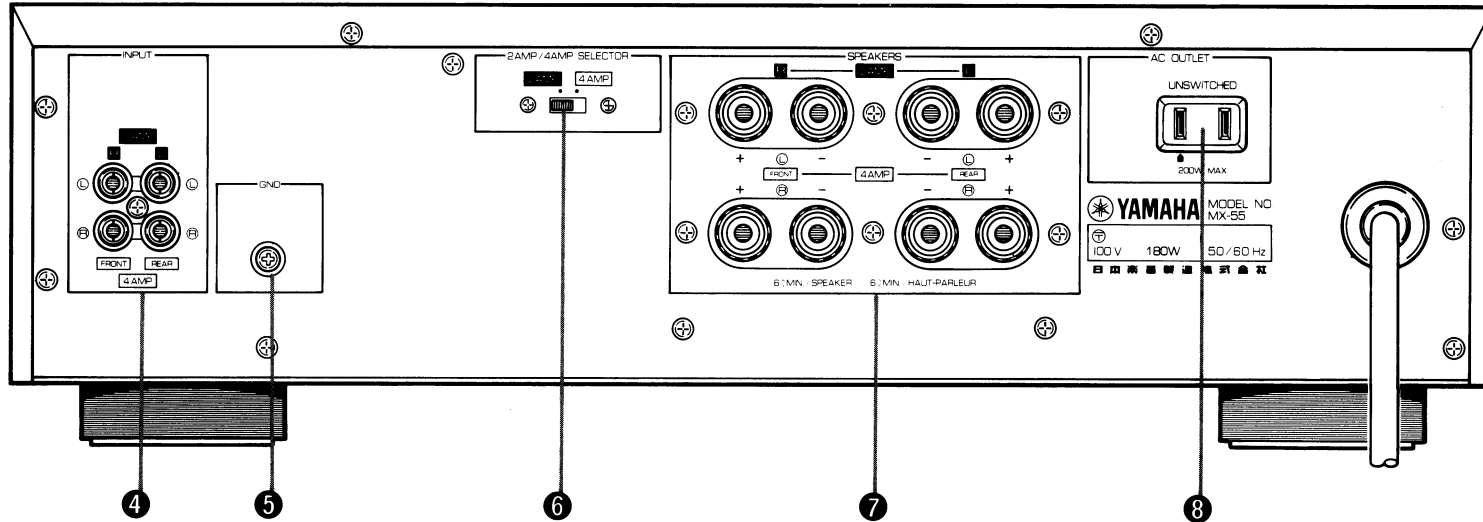
右側のツマミでRIGHT(右)スピーカーの音量を、左側のツマミでLEFT(左)スピーカーの音量を調整します。

#### **4 AMP** の場合

右側のツマミでFRONT(前)スピーカーの音量を、左側のツマミでREAR(後)スピーカーの音量を調整します。

※ **4 AMP** の場合、左右の音量バランスは本機では調整できませんので、コントロールアンプ側で調整してください。

## リアパネル



### ④ INPUT 端子

コントロールアンプまたはサラウンドプロセッサーなどからの信号を入力する端子です。

**2 AMP** で使用する場合と、**4 AMP** で使用する場合では接続方法が異なります。詳しくは次ページ「接続のしかた」をご覧ください。

### ⑤ GND 端子

グラウンド端子です。  
コントロールアンプのGND端子と接続します。

※スピーカー端子の(-)端子はグラウンドレベルではありませんので(-)端子どうしを共用できません。また、スピーカー切り換えボックスなどをスピーカー端子に接続して使用することもできません。

### ⑥ 2 AMP / 4 AMP SELECTOR スイッチ

本機で駆動するスピーカーの数に合わせて切り換えるスイッチです。

2台のときは **2 AMP** 4台のときは **4 AMP** にセットします。詳しくは次ページ「接続のしかた」をご覧ください。

### ⑦ SPEAKERS 端子

スピーカーを接続する端子です。

**2 AMP** で使用する場合と、**4 AMP** で使用する場合では接続方法が異なります。詳しくは次ページ「接続のしかた」をご覧ください。

### ⑧ AC OUTLET

他のオーディオ機器へ電源を供給する予備コンセントです。

本機のPOWERスイッチのON/OFFに関係なく、最大200Wまで供給できます。

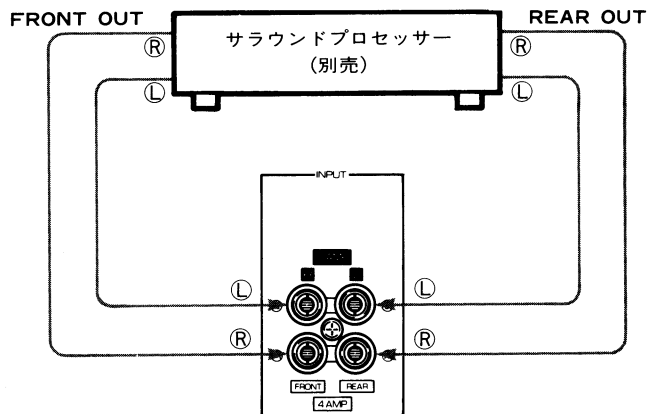
# 接続のしかた

## 接続時のご注意

接続の際は各機器の電源を切り、FRONT(前)、REAR(後)、Lチャンネル(左)、Rチャンネル(右)を確認して正しく接続してください。  
ご使用になるスピーカーが2台のときと、4台のときでは接続方法と操作方法が異なりますのでご注意ください。

### 4チャンネルのパワーアンプとして使用する場合

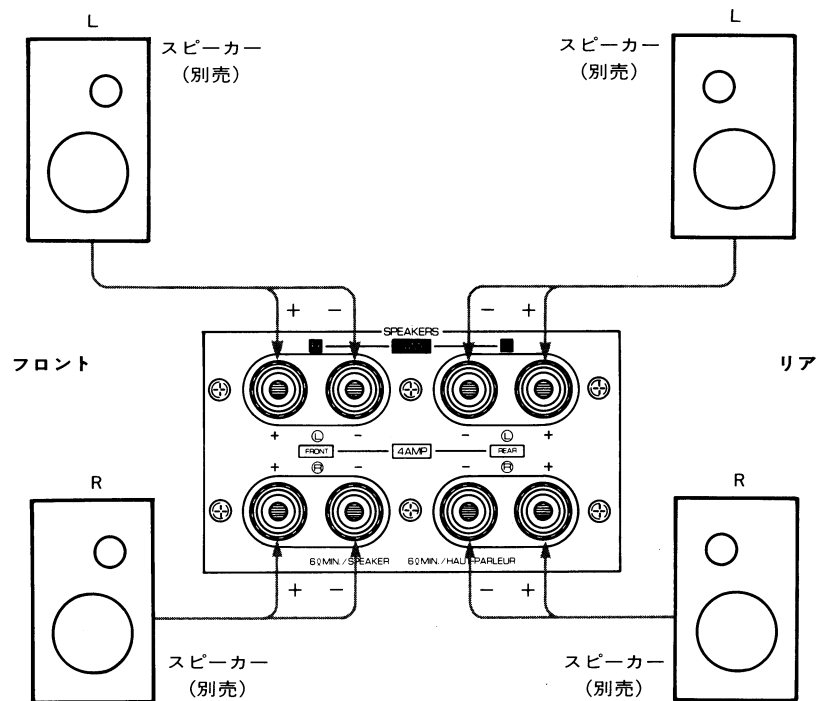
- 1 サラウンドプロセッサ(別売)のFRONT OUT/REAR OUT端子と本機のINPUT端子を接続します。



- 2 本機の2 AMP/4 AMP SELECTORスイッチを **4 AMP** に切り換えます。

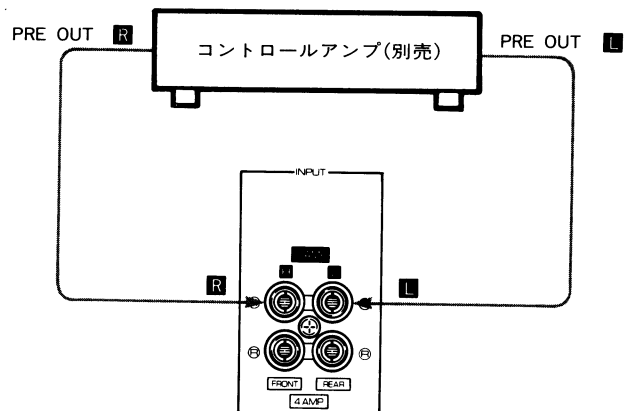


- 3 スピーカー(別売)を本機のSPEAKERS端子に接続します。

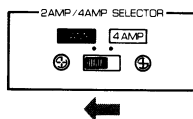


## 2チャンネルのパワーアンプとして使用する場合

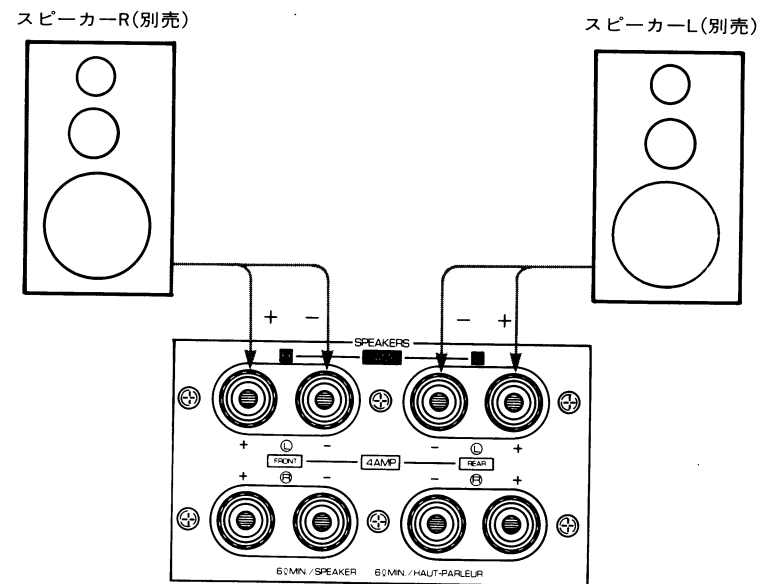
1 コントロールアンプ(別売)のPRE OUT端子と本機のINPUT端子を接続します。



2 本機の2 AMP/4 AMP SELECTORスイッチを **2 AMP** に切り換えます。



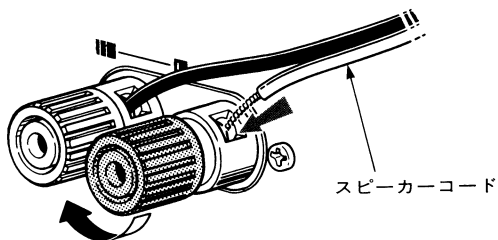
3 スピーカー(別売)を本機のSPEAKERS端子に接続します。



# 接続のしかた(つづき)

## スピーカーの接続

- ①スピーカーコードの先端の絶縁を10mm位はがし、芯線がバラつかないようにしっかりとねじります。
- ②スピーカー端子のつまみを左(反時計方向)に回して緩め、図のように端子穴にスピーカーコードの芯線部分を差し込み、つまみを右(時計方向)に回して締めつけます。



### ご注意

- スピーカーの極性が間違っていると、音像が定位せず、ステレオ感が無く低音が損なわれた不自然な再生音になりますのでご注意ください。
- スピーカーはインピーダンスが6～16Ωの範囲内のものご使用ください。
- 接続の際にスピーカーコードの芯線部分が他の端子やパネルなどの金属部分に接触しないように充分注意してください。

## 電源プラグ/AC OUTLET/GND端子の接続

### 電源プラグ

本機のPOWERスイッチがOFFになっていることを確認して、電源プラグを家庭用電源コンセントに接続します。

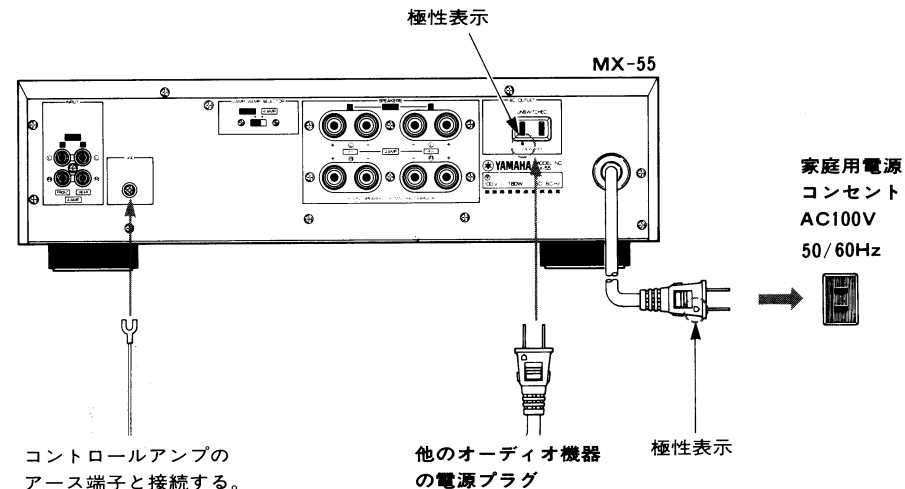
本機は180Wの電力を消費しますので、他のアンプなどのAC OUTLET (補助電源コンセント)に接続しないでください。

### AC OUTLET

本機のPOWERスイッチのON/OFFとは関係なく常時AC電源を供給しています。消費電力が200W以下のオーディオ機器を接続することができます。複数の機器を接続する際は、合計の消費電力が200Wを越えないようにご注意ください。

### GND端子

コントロールアンプのGND端子と接続します。  
通常は接続しなくてもご使用には影響ありません。

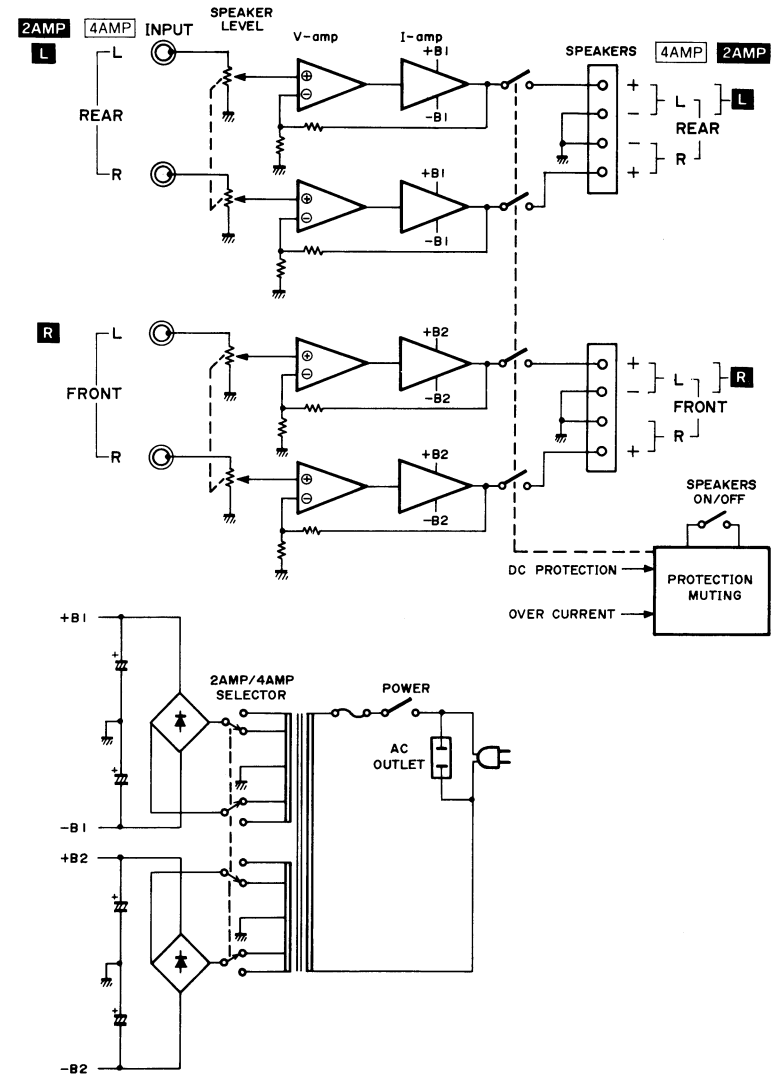




# ブロックダイアグラム

## 極性表示の合わせかた

本機の電源プラグおよびAC OUTLETには極性(電源トランスの巻き始め側)を“□”マークで表示してあります。これは、接続する機器間の電源の極性を合わせ、より良い音質を得るためのものです。極性表示がある家庭用電源コンセント(コンセントの穴の長さが違うタイプ)に接続するときは、コンセントの長い方の穴に電源プラグのマークを合わせて差し込んでください。また、本機から電源を供給するオーディオ機器に極性表示がある場合は、電源プラグのマークと本機のAC OUTLETのマークを合わせて差し込みます。極性を合わせなくてもご使用には影響ありません。



# 故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ・サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源コードのプラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていない。	電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込み直してください。
音が全く出ない。	SPEAKERSスイッチがOFFになっている。	SPEAKERSスイッチをONにしてください。
	SPEAKER LEVELつまみが左一杯(MIN.)になっている。	SPEAKER LEVELつまみを右(時計方向)に回してください。通常は右一杯(MAX.)で使用します。
	INPUT端子のピンプラグが確実に差し込まれていない。	接続を確認してください。
	アンプとスピーカーの接続が不完全。	接続を確認してください。
前後、左右のスピーカーあるいは、そのうちのいずれかのスピーカーから音が出ない。	アンプとスピーカーの接続が不完全。	接続を確認してください。
	SPEAKER LEVELつまみの位置が正しくない。	SPEAKER LEVELつまみで音量バランスを調整してください。
	4本のスピーカーを使用している場合で、2 AMP/4 AMP SELECTORスイッチが <b>2 AMP</b> になっている。	2 AMP/4 AMP SELECTORスイッチを <b>4 AMP</b> に切り換えてください。
<b>4 AMP</b> として使用している場合で、左右の音量バランスが調整できない。	<b>4 AMP</b> として使用している場合、本機では左右の音量バランスは調整できません。	入力機器側コントロールアンプやサラウンドプロセッサなどで左右のバランスを調整してください。
低音が小さい不自然な再生音で音像が定位しない。	アンプとスピーカーの位相(+、-)が合っていない。	アンプとスピーカーの位相(+、-)を合わせて接続し直してください。
ブーンというハム音が入る。	ピンプラグの接続が不完全。	ピンプラグをしっかりと差し込み直してください。

# 参考仕様

<b>定格出力</b>		
2 AMP (20Hz～20kHz) THD $\leq$ 0.003%, 8 $\Omega$		90W + 90W
2 AMP (20Hz～20kHz) THD $\leq$ 0.003%, 6 $\Omega$		100W + 100W
4 AMP (20Hz～20kHz) THD $\leq$ 0.005%, 8 $\Omega$		45W $\times$ 4
4 AMP (20Hz～20kHz) THD $\leq$ 0.005%, 6 $\Omega$		50W $\times$ 4

<b>ダイナミックパワー</b>		
2 AMP (1 kHz, 8 $\Omega$ / 6 $\Omega$ / 4 $\Omega$ / 2 $\Omega$ )		125W / 150W / 175W / 210W
4 AMP (1 kHz, 8 $\Omega$ / 6 $\Omega$ / 4 $\Omega$ / 2 $\Omega$ )		55W / 65W / 75W / 80W

<b>パワーバンド幅</b>		
4 AMP (THD $\leq$ 0.03%, 20W / 8 $\Omega$ )		5 Hz～100kHz

<b>ダンピングファクター (1 kHz, 8 <math>\Omega</math>)</b>		170
--	--	-----

<b>入力感度 / インピーダンス</b>		
2 AMP		1.0V / 20k $\Omega$
4 AMP		0.7V / 20k $\Omega$

<b>周波数特性 (20Hz～20kHz)</b>		+ 0 0 - 0.3 dB
---------------------------	--	----------------------

<b>全高調波歪率</b>		
2 AMP (1 kHz, 45W / 8 $\Omega$ )		0.002%
4 AMP (1 kHz, 20W / 8 $\Omega$ )		0.003%

<b>混変調歪率</b>		
定格出力 / 8 $\Omega$		0.003%

<b>S/N比</b>		
2 AMP (IHF A ネットワーク, MAIN IN, 入力ショート, VR-MAX)		123dB
4 AMP (IHF A ネットワーク, MAIN IN, 入力ショート, VR-MAX)		120dB

<b>残留ノイズ (IHF A ネットワーク)</b>		16 $\mu$ V
-----------------------------	--	------------


<b>チャンネルセパレーション</b>		
2 AMP (1 kHz, Vol. -30dB, 5.1k $\Omega$ )		95dB
4 AMP (1 kHz, Vol. -30dB, 5.1k $\Omega$ )		70dB

<b>トラッキングエラー (0～-40dB)</b>		$\leq$ 2 dB
----------------------------	--	-------------

<b>定格電源電圧・周波数</b>		AC100V, 50 / 60Hz
-------------------	--	-------------------

<b>定格消費電力</b>	180W
<b>ACアウトレット (UNSWITCHED <math>\times</math> 1)</b>	200Wmax.
<b>外形寸法 (W<math>\times</math>H<math>\times</math>D)</b>	435 $\times$ 129 $\times$ 379mm
<b>重量</b>	11.0kg

※仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。


 これは電子機械工業会「音のエテック」キャンペーンのシンボルマークです。

**音楽を楽しむエテック**

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

# ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

(昭和62年10月1日 現在)

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## ●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## ●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

## ●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA 電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

## ●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## ■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3  
TEL(011)781-3621

仙台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F  
TEL(022)236-0249

東京 〒211 川崎市中原区木月1184  
TEL(044)434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F  
TEL(025)243-4321

浜松 〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内  
TEL(0534)65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2  
ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内  
TEL(06)877-5262

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内  
TEL(0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39  
TEL(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL(092)472-2134

## ■お客様ご相談窓口

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内  
北海道営業所 TEL(011)512-6115

仙台 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F  
東北営業所 TEL(022)223-3101

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F  
首都圏営業所 TEL(03)255-5691

神田営業所 TEL(03)255-6767

北関東営業所 TEL(03)255-1825

東京営業所 TEL(03)255-2302

千葉 〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F  
千葉営業所 TEL(0472)47-6622

神奈川 〒211 川崎市中原区木月1184

神奈川営業所 TEL(044)434-4871

浜松 〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内  
浜松営業所 TEL(0534)71-1207

名古屋 〒464 名古屋市中区東山通5-65 ヤマハ東山センター内  
中部営業所 TEL(052)782-7551

名古屋営業所 TEL(052)782-7551

大阪 〒556 大阪市浪速区数津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内  
関西営業所 TEL(06)647-6411

日本橋営業所 TEL(06)647-6411

大阪営業所 TEL(06)647-6411

広島 〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内  
中四国営業所 TEL(082)244-3745

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
九州営業所 TEL(092)472-2131

本社 〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

## ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内営業部 TEL.(0534)60-3421  
管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。